



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	78,101	△31.9	△4,615	—	△3,202	—	△3,859	—
2020年3月期第3四半期	114,728	△20.6	1,532	△89.4	2,256	△85.4	413	△96.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,564百万円(440.4%) 2020年3月期第3四半期 659百万円(△88.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△157.93	—
2020年3月期第3四半期	16.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	268,370	154,583	57.3
2020年3月期	258,889	151,703	58.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 153,799百万円 2020年3月期 150,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	60.00	—	20.00	80.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	113,500	△28.8	△4,800	—	△3,600	—	△4,400	—	—	△180.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	24,893,841株	2020年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	492,307株	2020年3月期	450,092株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	24,438,149株	2020年3月期3Q	24,443,926株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
3. その他	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高781億1百万円(前年同期比31.9%減)、営業損失46億15百万円、経常損失32億2百万円、純損失38億59百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結受注は823億51百万円(前年同期比28.7%減)となりました。中国を除くすべての地域で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく減少しました。中国は期初から回復傾向であることから、前年同期並みとなりました。

第3四半期(2020年10月～12月)における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については8ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は前年同期を下回りました。

大きな落ち込みのあった第2四半期に対しては増加しましたが、顧客が設備投資を見合わせる状況が継続しました。

第4四半期も同様の状況が続くと見えています。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアは中国とインドが回復傾向であったことにより、前年同期を上回りました。18年度第2四半期以降、初めて前年同期比で増加しました。

中国は電気電子関連の金型加工向けを中心に増加しました。スマートフォン関連の受注もありました。部品加工向けには自動車や半導体製造装置関連で受注が継続しました。

第4四半期は、自動車の大型金型加工向けや、油空圧関連の部品加工向けの案件も加わることで、回復傾向を維持すると見えています。

インドは自動車の販売台数が2020年8月以降、前年同期比で増加していることに伴い顧客の設備投資がありました。

第4四半期は自動車以外の受注も取り込むことで、受注増となるよう取り組みます。

アセアンは、前年同期を下回りました。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

アメリカは前年同期を下回りました。航空機向けの受注が大幅に減少したことが主な要因です。第2四半期に比べ、SUVやピックアップトラック等の自動車や、半導体製造装置の部品加工向けの受注については増加しました。

第4四半期も同様の状況が継続すると見えています。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

ヨーロッパは低水準であった前年同期並みとなりました。厳しい状況下でも自動化のための設備投資の引き合いがあり、これを獲得することによって第4四半期も受注増に努めます。

当社はコロナ禍において、生産活動のみならず、営業、サービス活動においても自動化を進めてきました。

営業面では、昨年3月に開始したYouTubeでの動画配信や、Web上で展示会の開催をしました。これらを通して当社に興味をお持ちいただいたアクティブユーザ数は累計34万人超となっています。

サービス面では、リモートでお客様の機械の復旧をサポートできるIOTセンタの稼働により、迅速な対応が可能となりました。

このように、多くのお客様と効率的につながる仕組みを構築することができました。今後の景気の拡大時には、

その効果をより発揮できるものと期待しています。

また、昨年11月に開催されました工作機械見本市JIMTOFにて、当社の今後のものづくりの方向性を示すコンセプト機として、「e・MACHINE」を発表しました。

これは、Ecological、Exchangeable、Expandable、Electrical、Endurable、Easy to useの6つの「e」を実現する機械です。軽量化や電動化によりエネルギー消費を低減することや、機械購入後もソフトウェアの更新による拡張が可能、主軸ユニットを交換すれば異なる特性を持つ機械に変更可能、音声により操作ができるため使いやすい等々、さまざまな特長を持っています。

これらの技術によって、お客様の生産性の向上と、環境負荷の低減を両立することができます。e・MACHINEで紹介した技術を今後の新製品に取り入れ、営業活動を展開していきます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ94億81百万円増加し、2,683億70百万円となりました。主な増減としては、受取手形及び売掛金148億22百万円の減少、現金及び預金130億39百万円の増加、投資有価証券98億21百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、長期借入金112億8百万円の増加、仕入債務64億89百万円の減少、繰延税金負債30億59百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ66億1百万円増加し、1,137億86百万円となりました。

また、純資産につきましては、その他有価証券評価差額金68億87百万円の増加、利益剰余金43億48百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ28億80百万円増加し、1,545億83百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

環境の変化に対応したコスト削減が想定以上に進んだため、2020年10月30日に公表した業績予想を修正しました。具体的内容は本日(2021年1月29日)公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,748	68,788
受取手形及び売掛金	40,179	25,356
有価証券	35	3,347
商品及び製品	19,343	19,311
仕掛品	12,350	14,344
原材料及び貯蔵品	26,652	25,919
その他	8,683	5,969
貸倒引当金	△949	△1,078
流動資産合計	162,043	161,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,634	29,842
機械装置及び運搬具（純額）	8,712	9,075
工具、器具及び備品（純額）	4,250	4,135
土地	18,198	18,587
リース資産（純額）	3,541	3,788
建設仮勘定	2,471	2,662
有形固定資産合計	67,808	68,091
無形固定資産		
その他	4,581	4,155
無形固定資産合計	4,581	4,155
投資その他の資産		
投資有価証券	18,139	27,961
長期貸付金	813	805
繰延税金資産	3,084	2,867
退職給付に係る資産	127	111
その他	2,604	2,697
貸倒引当金	△315	△279
投資その他の資産合計	24,454	34,164
固定資産合計	96,845	106,411
資産合計	258,889	268,370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,024	10,113
電子記録債務	11,944	7,366
短期借入金	4,767	4,896
1年内返済予定の長期借入金	597	1,000
リース債務	474	511
未払法人税等	432	443
その他	21,957	20,778
流動負債合計	52,198	45,109
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,445	31,654
リース債務	2,801	2,321
繰延税金負債	4,737	7,796
役員退職慰労引当金	109	117
退職給付に係る負債	5,512	5,579
その他	1,381	1,208
固定負債合計	54,987	68,676
負債合計	107,185	113,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,074
利益剰余金	93,424	89,075
自己株式	△2,011	△2,173
株主資本合計	149,626	145,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,602	15,490
為替換算調整勘定	△3,329	△3,194
退職給付に係る調整累計額	△4,024	△3,615
その他の包括利益累計額合計	1,248	8,680
非支配株主持分	828	784
純資産合計	151,703	154,583
負債純資産合計	258,889	268,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	114,728	78,101
売上原価	84,320	60,831
売上総利益	30,407	17,269
販売費及び一般管理費	28,875	21,885
営業利益又は営業損失(△)	1,532	△4,615
営業外収益		
受取利息及び配当金	722	487
助成金収入	185	841
その他	495	671
営業外収益合計	1,403	2,001
営業外費用		
支払利息	284	219
為替差損	361	142
退職給付費用	-	214
その他	33	12
営業外費用合計	679	587
経常利益又は経常損失(△)	2,256	△3,202
特別利益		
固定資産売却益	63	157
投資有価証券売却益	30	8
雇用調整助成金	-	640
特別利益合計	94	806
特別損失		
固定資産除却損	73	51
新型コロナウイルス対応による損失	-	892
特別損失合計	73	944
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,277	△3,340
法人税等	1,860	529
四半期純利益又は四半期純損失(△)	416	△3,869
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	413	△3,859

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	416	△3,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,339	6,889
為替換算調整勘定	△1,195	135
退職給付に係る調整額	98	409
その他の包括利益合計	243	7,434
四半期包括利益	659	3,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	656	3,572
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH (ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	Ⅰ (百万円)	Ⅱ (百万円)	Ⅲ (百万円)	Ⅳ (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	34,727	35,358	35,571	9,070	114,728
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,162	5,219	242	41	44,665
計	73,890	40,577	35,813	9,111	159,393
セグメント利益 又は損失(△)	△1,140	2,848	921	△1,018	1,611

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,611
未実現利益の消去他	△79
四半期連結損益計算書の営業利益	1,532

II 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	22,888	28,166	21,933	5,112	78,101
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,820	2,894	187	5	24,907
計	44,709	31,060	22,120	5,118	103,009
セグメント利益 又は損失(△)	△5,579	1,624	1	△1,080	△5,033

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△5,033
未実現利益の消去他	417
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△4,615

(追加情報)

連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	24,111	29.3	△28.7
II	30,299	36.8	△12.5
III	22,815	27.7	△41.9
IV	5,124	6.2	△34.4
合計	82,351	100.0	△28.7

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間末 2020年12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	18,955	38.5	△21.5
II	10,551	21.4	△7.9
III	13,529	27.4	△24.2
IV	6,244	12.7	△38.9
合計	49,282	100.0	△22.6

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年 12月 31日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	22,888	29.3	△34.1
II	28,166	36.1	△20.3
III	21,933	28.1	△38.3
IV	5,112	6.5	△43.6
合計	78,101	100.0	△31.9

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。